令和7年度事業計画

《概　　要》

　北九州市においては、現在、北九州市において策定中の「北九州市基本構想（素案）」の中で、彩ある「時」をつくるため、「生活を健康で心豊かにする文化芸術やスポーツの振興を図るため、多様な文化芸術資源の維持・継承・発展に取り組くむとともに、（中略）これからの時代に対応した多様なライフスタイルや価値観に応える文化芸術やスポーツの振興に取り組む」としている。

　当財団では、北九州市の文化芸術施策における理念や方針を尊重するとともに、市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、優れた芸術文化に接する機会を提供すること、芸術文化を通して青少年の育成をはかること、市内外に向けて芸術文化情報の発信に努めることなど、様々な公演事業や育成事業、情報提供事業等を実施し、芸術文化の振興と芸術文化を核としたまちづくりを目指していく。

　また、併せて北九州芸術劇場等の芸術文化施設の管理運営や文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査を行う。

　さらに、文化に関する情報を広域かつ幅広い層に発信し、地域文化の振興に寄与していく。

Ⅰ 文化創造事業の実施

当財団が、令和７年度から３年間の指定管理者として運営する北九州芸術劇場、北九州市立響ホール、北九州市立大手町練習場の３つの芸術文化施設等を中心に、市民の多様な芸術文化ニーズに対応した公演事業や育成事業を実施し、芸術文化の振興に寄与する。

１　舞台芸術の振興

北九州市の舞台芸術の拠点施設である北九州芸術劇場において、「創る（創造事業）」「育つ（学芸事業）」「観る（公演事業）」「支える（支援事業）」をコンセプトに、市民の多様なニーズに対応した事業を実施する。

（1）創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
「Re：北九州の記憶」	①まちの記憶　演劇的アーカイブ リーディング公演 北九州芸術劇場創造工房、市内各所 2025 年夏 ②新作「石炭の走る街」公演 北九州芸術劇場創造工房、中劇場 2025 年秋	地域の劇作家と共にまちの高齢者の記憶を演劇的手法で後世へ継承していく取組として、平成 24 年度より実施する「Re：北九州の記憶」。この蓄積をもとに、新たに「まちの記憶」を掘り起こし戯曲化・舞台化していく事業、これまで生まれた戯曲から学校鑑賞作品を創作し次世代へ継承していく事業、の２事業を展開するもの。 【参加アーティスト】 ①穴迫信一、寺田剛史ほか ②山口大器ほか
キタゲキローカルアーティスト協働プログラム	北九州芸術劇場、市内各所 通年	劇場と地域で活躍するアーティストとが 2 年間協働し、オリジナルの市民参加作品を創作する新シリーズの第 2 弾。舞台芸術の力を活用し“市民との交流や体験を行う”1 年目、1 年目の活動をもとに“市民と共に作品を創作・上演する”２年目、のうち１年目。 【ローカルアーティスト】 山口大器

（2）学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献する。

事業名	場所・時期等	内容等
キタ Q アーティストふれあいプログラム	市内小・中学校、特別支援学校、特別支援学級 ７月～２月	第一線で活躍するアーティストと市内の学校へ出かけ、演劇・ダンスのアウトリーチプログラムを実施。未来を担う子どもたちが、舞台芸術や多様な価値観をもつアーティストと出会いふれあうことで、創造力や表現力を育み、豊かな個性を伸ばす手助けとなることを目指すもの。 【アーティスト】 （演劇）有門正太郎、福田修志、守田慎之介 （ダンス）大島匡史朗、セレノグラフィカ、長与江里奈 ほか
ひとまち＋アーツ協働事業	①図書館協働プログラム 北九州市立八幡図書館 12 月～２月 ②高齢者生きがいプログラム 北九州芸術劇場小劇場、創造工房 ５月～12 月 ③市民センター協働プログラム 市内市民センター ５月～12 月	芸術分野やそれ以外の施設や団体と協働し、地域が抱える課題等について、中長期的なビジョンを共有しながら、その解決に向かうプログラムを実施。劇場が培ってきた専門知識やノウハウ、アーティストや舞台芸術の持つ想像力・創造性を活かし、人と人、人とまちを繋ぎ、本市に暮らす誰もが心豊かな生活をおくる環境を提案していくもの。 【アーティスト】 ①守田慎之介 ②セレノグラフィカ、多田淳之介 ③有門正太郎 ほか
キタゲキサポーター活動事業	北九州芸術劇場内 通年	劇場開館より共に活動してきた劇場文化サポーターOB・OG を特派員と位置づけ『分かち合い・発信する』をテーマに実施するもの。サポーターとして得た知識に、観劇やワークショップの体験を重ね合わせ、特派員同士で共有し発信することで、市民と劇場との懸け橋となること、また劇場ミッションをより浸透させることを目指すもの。 【活動例】 ・特派員活動： 観劇やワークショップの体験後、各々の理解や新たな気づきを他者と共有し発信する ・サポーター活動： 公演時のサポートを行う

高校生のための演劇塾	すべて北九州芸術劇場内 ［①戯曲講座］ ６月～７月 ［②演技・演出講座］ ８月５日（火）～７日（木） ［③舞台技術講座（モギテク）］ ８月 22 日（金）～24 日（日）	高等学校芸術・文化連盟演劇部門北九州市部との共催で、高校生のための「演劇づくり」の基礎講座を実施。地域の演劇人や劇場スタッフを講師とした 3 種の体験型講座・講習を通して、未来の演劇人の創出および北九州地区高校演劇部のレベル向上を図るもの。 【ディレクター】 守田慎之介 【講師】 ①山口大器 ②飯野智子、寺田剛史、門司智美、山口大器 ③北九州芸術劇場テクニカルスタッフ
舞台芸術表現者育成事業 「キタゲキスクール 2025」	北九州芸術劇場小劇場、創造工房 ５月～11 月	高校卒業後の若年層をターゲットに、舞台芸術を体系的に学ぶ場をつくり、地域の舞台芸術を担う次世代を養成するプログラム。国内の第一線で活躍する実演家や地域の表現者を講師に迎え、ワークショップ等の体験からアートマネジメントや文化政策などの知識習得、最終的には演劇作品の創作発表までを行うもの。 【対象】 18 歳以上 25 歳以下の表現活動や舞台芸術に興味がある方 【総合ディレクター】 守田慎之介 【サブディレクター】 青野大輔 【講師】 セレノグラフィカ、多田淳之介、田上豊、津村卓、土田英生、泊篤志、内藤裕敬、中村蓉、山口大器、吉本光宏、北九州芸術劇場テクニカルスタッフ
地域コーディネーター育成プログラム	北九州芸術劇場創造工房 10 月～12 月	劇場が培ってきた事業ノウハウを活かし、芸術文化やそれ以外の様々な分野で活動する人々を広く募り、仲間づくりを行うと共に、芸術文化を核にした地域の活性化を共に考え、実行できる人材を育成するプログラム。ワークショップ体験や他地域の事例紹介を通し、企画立案を行うもの。 【対象】 文化・芸術活動に興味を持つ地域住民、公共ホール職員、行政担当者 【アーティスト・講師】 有門正太郎、大澤寅雄ほか

創造支援事業 演カツ！！2025	北九州芸術劇場創造工房 通年	演劇・演舞の活動・活躍・活性＝「演カツ」の場として、劇場内の稽古場を個人または団体へ貸し出し、創造環境の支援を行う事業。地域のアーティストたちの新たな表現活動への取組や、様々な知識・ノウハウ獲得のサポートを目的として実施するもの。

（3）公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
ラッパ屋第 50 回公演 「はなしづか」	北九州芸術劇場中劇場 4月 27 日（日） １公演	「大人が楽しめる芝居づくり」を掲げ、普通にまじめに一所懸命に生きる男女の日常でサラリーマンをはじめ、OL、主婦、演劇ビギナーから演劇マニアまで幅広い層から支持を集めるラッパ屋の記念すべき第 50 回公演。新作公演は豪華ゲストも交えて贈る戦時下で奮闘した落語家たちの物語。 【作・演出】鈴木聡
名取事務所 「燃える花嫁」	北九州芸術劇場小劇場 6月 28 日（土）～29 日（日） ２公演	若手の視点で前衛的な会話劇を発表し続けているピンク地底人 ３号が「移民」をテーマに描く新作公演。演出は文学座所属、2024 年第 31 回読売演劇大賞で優秀演出家賞を受賞した生田みゆき。架空の日本、難民が暮らすとある地区を舞台に綴る、国の未来に一石を投じる注目作。 【作】ピンク地底人３号 【演出】生田みゆき
アロフト・サーカス・アーツ 「ブレイブ・スペース」	北九州芸術劇場中劇場（舞台上） ８月９日（土）～10 日（日） ３公演	世界で人気を誇るサーカスカンパニーによる、パンデミックによって世界が分断された時代に「信頼できるコミュニティをつくる」というアイデアをもとに生み出された作品。舞台上に現れるテントの中で、観客も作品の一員として迎えられる約 1 時間の体験型パフォーマンス。 【作・演出】シェイナ・スワンソン

ケラリーノ・サンドロヴィッチ新作公演	北九州芸術劇場中劇場 10月25日（土）～26日（日） 3公演	ミゲル・デ・セルバンテスの代表小説「ドン・キホーテ」をモチーフに創作する新作公演。幅広い世代に親しまれる古典の名作を、総勢20名に及ぶ豪華出演者と生演奏を交えた一大冒険奇譚へと仕立て贈る物語。 【作・演出】ケラリーノ・サンドロヴィッチ
日韓合同公演 「焼肉ドラゴン」（日本語字幕付き）	北九州芸術劇場中劇場 12月6日（土）～7日（日） 2公演	2008 年の初演時、東京・ソウル公演で毎回スタンディング・オベーションとなる熱狂的な反応でその年の演劇賞を総なめにした話題作を日韓国交正常化 60 周年の 2025 年、4 度目の再演。関西の焼肉屋を舞台に、ある在日コリアンの家族を通して、日韓の現在、過去、未来を描く。 【作・演出】鄭義信
二兎社公演 49 「狩場の悲劇」	北九州芸術劇場中劇場 12月13日（土）～14日（日） 2公演	緻密な人物描写と批評性の強い作品で、名実ともに日本演劇界を代表する劇作家・永井愛率いる二兎社の新作公演。原作はチェーホフの名著『狩場の悲劇』。帝政ロシアの人間社会を映したチェーホフと、人間ドラマを通して日本社会や時代の様相を描く永井愛の、時間と空間を飛び越えた奇跡のコラボレーションミステリー。 【原作】チェーホフ 【作・演出】永井愛
クラウド・ゲイト・ダンスシアター 雲門舞集 鄭宗龍 × 真鍋大度 「WAVES」	北九州芸術劇場中劇場 12月21日（日） 1公演	2023 年初演、中国語圏で初の現代舞踊集団・雲門舞集の芸術監督である鄭宗龍と、日本が世界に誇るデジタルメディアアーティスト真鍋大度のコラボレーションプロジェクト。アートと先端テクノロジーを融合させ、新たな視点を観客に提示するダンス作品。 【振付・コンセプト】鄭宗龍 【コンセプト・ビジュアル・音楽・プログラム】真鍋大度
ダンス兼演劇作品 「ダンスの審査員のダンス」	北九州芸術劇場中劇場 1月25日（日） 1公演 ※関連ワークショップ実施	現代演劇の最前線に立ち、海外でも高い評価を受ける演劇作家･岡田利規による新作公演。国内外で活躍する注目のダンサー、俳優、気鋭の音楽家や舞台美術家も加わり、ダンスや演劇という領域を超えたジャンルレス作品を上演。 【作・演出】岡田利規

（4）提携･協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業連携等により、様々なジャンルの公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
【協力】 「先生の背中（仮）」～ある映画監督の喜劇的回想録～	北九州芸術劇場大ホール ７月 11 日（金）～12 日（土） ２公演	【作】鈴木聡 【演出】行定勲
【協力】 「みんな鳥になって」	北九州芸術劇場大ホール ８月 15 日（金）～17 日（日）	【作】ワジディ・ムワワド 【演出】上村聡史
【協力】 赤堀雅秋 新作公演	北九州芸術劇場中劇場 ９月 19 日（金）～21 日（日） ４公演	劇作家・演出家・俳優・映画監督として幅広く活躍する赤堀雅秋によるプロデュース公演。喜劇的スタンスを軸に、時代を捉えた空気感と注目のキャストで贈る新作。 【作・演出】赤堀雅秋
【協力】 大ホール作品	北九州芸術劇場大ホール ９月 26 日（金）～28 日（日）	調整中
【提携】 飛ぶ劇場「新作」	北九州芸術劇場小劇場 10 月３日（金）～５日（日） ４公演	北九州を拠点に結成 35 年を超える老舗劇団、飛ぶ劇場の新作公演。時代を鋭く切り取る社会性とエンターテインメント性の高さで老若男女に人気を博す。 【作・演出】泊篤志
【提携】 EPOCH MAN 「我ら宇宙の塵」	北九州芸術劇場小劇場 11月 14 日（金）～16日（日） ５公演	5 名の出演者と 1 体のパペットが繰り広げる、宇宙と生命の物語。2023 年に初演、第 31 回読売演劇大賞優秀作品賞、優秀演出家賞、最優秀女優賞に輝いた話題作。 【作・演出】小沢道成
【協力】 大ホール作品	北九州芸術劇場大ホール 11 月 29 日（土）～30 日（日）	調整中
【協力】 ヨーロッパ企画第 44 回公演 「新作（タイトル未定）」	北九州芸術劇場中劇場 ２月 14 日（土）～15 日（日） ２公演	映画「サマータイムマシン・ブルース」の原案でも知られる京都発の人気劇団の新作公演。登場人物や独特のゆるい日常会話など、様々なアイテムを絡ませながら、実験的な“笑い”の空間を創出。 【作・演出】上田誠
【協力】 大ホール作品	北九州芸術劇場大ホール ２月 20 日（金）～22 日（日）	調整中

【提携】 「Choreographers2025」 北九州公演 次代の振付家によるダンス作品上演＆トーク	北九州芸術劇場小劇場 ２月22日（日） １公演	ダンスの創造支援や普及に取り組む NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワークが行う事業。気鋭の振付家の作品を連続上演し全国各地のダンスの起爆剤となることを目指すもの。
【提携】 大ホール作品	北九州芸術劇場大ホール 2月28日（土）～3月1日（日）	調整中
【提携】 ダンス作品	北九州芸術劇場小劇場 ３月６日（金）～８日（日）	調整中
【提携】 MONO 新作公演	北九州芸術劇場小劇場 ３月14日（土）～15日（日） ３公演	軽妙な笑いの中に、現代社会や人間の深層心理を織り込む“会話劇”で人気の関西の老舗劇団 MONO の新作公演。作・演出の土田英生は、TV や映画などの脚本家としても活躍。 作・演出：土田英生
【協力】 歌舞伎公演	北九州芸術劇場大ホール ３月21日（土） １公演	調整中

（5）支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
創造支援事業 演カツ！！2025 ＜再掲＞	（２）学芸事業　参照	
飛ぶ劇場「新作」 ＜再掲＞	（４）共催・提携・協力事業　参照	

（6）地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
第55回 北九州市ファミリー劇場 ―角笛シルエット劇場―	市内市民会館（門司・戸畑・若松、黒崎ひびしんホール、北九州芸術劇場大ホール） 5月２０日（火）～27日（火） ７公演	劇団角笛による、幻想的で色鮮やかな影絵劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供。
人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館大ホール ３月４日（水） ２公演	太夫、三味線、人形の三位一体が織りなす情緒豊かな日本の伝統芸能として、ユネスコ世界無形文化遺産にも登録された日本の伝統芸能「文楽」の公演を実施。

2　音楽文化の振興

北九州市の音楽文化の中核施設である響ホールにおいて、「創造と発信（創造・公演事業）」「育成と継承（育成事業）」「地域連携による心豊かな社会の実現（連携・支援・地域文化振興事業）」をミッションに事業展開し、市民の多様なニーズに応え、音楽文化の振興を行う。

（1）創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを創造し、発信力の高い音楽文化の振興に取り組み、地域の音楽文化を牽引する企画制作を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
響シリーズ　i アレクサンドル・メルニコフ×クァルテット・インテグラ	響ホール ７月５日（土） 関連事業 響ホールへようこそ！ 地域訪問コンサート	響ホールオリジナル企画の２時間のクラシックコンサート。 クァルテット・インテグラは本公演に併せて、「地域訪問コンサート」「響ホールへようこそ！」へも出演。
2025 北九州国際音楽祭 特別プログラム まるっと Enjoy！響ホールで夏休み	響ホール ８月 10 日（日） 関連事業 まろさんのヴァイオリンが上手くなるひみつ	３歳以上対象で入場無料。気軽に参加して本格的なクラシック音楽鑑賞などを楽しめるイベント。響ホールと音楽祭を身近に感じてもらうことを目的に開催する。
2025 北九州国際音楽祭 鳥羽咲音[チェロ] 鳥羽泰子[ピアノ]	西日本工業倶楽部 １１月５日（水） 関連事業 楽しみかた聴きどころ講座	地域の財産である国定重要文化財の西日本工業倶楽部を会場とする例年人気のコンサート。新進気鋭のチェリストを迎える。
2025 北九州国際音楽祭 住谷美帆、上野耕平 サクソフォン デュオ リサイタル 高橋優介[ピアノ]	響ホール １１月９日（日） 関連事業 中学生の鑑賞教室１・２ 楽しみかた聴きどころ講座	今、最も注目され、人気実力ともに備えた二人のクラシックサクソフォン奏者による初のデュオ・リサイタルを開催する。サクソフォンの魅力を存分に披露する。
2025 北九州国際音楽祭 ハーゲン・クァルテット[弦楽四重奏]with 谷 昂登[ピアノ]	響ホール １１月１５日（土） 関連事業 楽しみかた聴きどころ講座	本市出身の谷昂登氏は世界に羽ばたく若手ピアニストとして大変注目を集めている。今回は、世界屈指の弦楽四重奏団であるハーゲン・クァルテットと初共演する。ハーゲン・クァルテットの日本ツアーでは、本公演でのみピアノ五重奏曲を披露する。
2025 北九州国際音楽祭 マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ コンサートマスター：篠崎史紀 ソリスト･合唱：東京オペラシンガーズ	響ホール １１月２３日（日・祝） 関連事業 楽しみかた聴きどころ講座	本音楽祭のオリジナルオーケストラによる名物企画。コンサートマスターは、本市出身で文化大使の篠崎史紀氏が務め、メンバーは、国内主要オーケストラのトップ奏者と新進気鋭の若手奏者により構成。12 回目となる今回は、東京オペラシンガーズを迎え、ベートーヴェン『第九』に取り組む。
2025 北九州国際音楽祭 三浦一馬[バンドネオン] 関 朋岳[ピアノ] 佐藤晴真[チェロ] ニュウニュウ[ピアノ]	響ホール １１月２９日（土） 関連事業 中学生の鑑賞教室３・４ 楽しみかた聴きどころ講座	近年特にピアソラの演奏に力を入れている三浦一馬が、響ホールの音響環境に合った特別編成を組んでオール・ピアソラ プログラムを披露する。

響シリーズ ii 共鳴する音楽会 （紀尾井ホール共催）	響ホール ２月８日（日） 関連事業 地域訪問コンサート 講　座	邦楽とクラシック音楽を融合させた２時間の紀尾井ホールとの連携企画コンサート。 本公演前に「聴きどころ講座」「地域訪問コンサート」も開催する。

（2）公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
響シリーズ iii iv ①周防亮介[ヴァイオリン] 髙木竜馬[ピアノ] ②沖仁×大萩康司×小沼ようすけ “TRES”[ギター]	響ホール ①6月21日（土） ②12月20日（土）	国内外で活動する一流アーティストによる２時間のコンサート。 クラシック音楽を中心に、多様なジャンルの公演を実施する。
響ホールへようこそ！ ①クァルテット・インテグラ[弦楽四重奏] ②響ホール室内合奏団メンバーによる [弦楽四重奏] ③姜建華[二胡]＆楊宝元[中国琵琶]	響ホール ①7月2日（水） ②9月11日（木） ③2月13日（金）	平日（昼）の響ホールを活用し、トークを交えた 60 分間のコンサートを実施。 新たな顧客層を開拓し、クラシック音楽の魅力を伝えるとともに、本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのＰＲを行う。 また、“より地域に根差し、地元色を打ち出したコンサート”を目指し、本市出身の演奏家を起用するなど（②）、地元演奏家の支援及び連携、そして地域の音楽文化の振興を図る。 併せて、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指し、地域訪問コンサートを実施する。
2025 北九州国際音楽祭 堤剛×スティーヴン・イッサーリス×横坂 源×上野通明[チェロ四重奏]、沼沢叔音[ピアノ]	響ホール １０月１８日（土）	80 代、60 代、30 代、20 代の各世代のトップチェリストが特別に集結する企画。チェロ１本から４本まで、様々な編成の楽曲により、チェロの魅力、演奏者の魅力満載の公演。
2025 北九州国際音楽祭 キリル・ゲルシュタイン×藤田真央[２台ピアノ]	響ホール １２月7日（日）	世界の檜舞台を席巻する藤田真央とヨーロッパのクラシック音楽シーンで実力ナンバーワンのキリル・ゲルシュタインの師弟コンビによるピアノ２台による演奏会。

（3）育成事業

鑑賞者、アーティスト、アーツスタッフなど幅広く文化芸術の担い手を育成し、次世代に音楽文化を継承する。

事業名	場所・時期等	内容等
NEW！楽しみかた聴きどころ講座 ①クラシックコンサートへ行こう！ ②第九を語る ③北九州国際音楽祭へ行こう！ ④アーティスト・トーク ⑤新春・邦楽講座 ※①～④は北九州国際音楽祭特別プログラムとして実施	①響ホール・ステージ ５月２４日（土） ②西日本工業大学小倉キャンパス ６月２８日（土） ③西日本工業大学小倉キャンパス ９月７日（日） ④響ホール・リハーサル室 １０月１８日（土） ⑤響ホール・ホワイエ １月１２日（月・祝）	講座を通じて、響ホールの年間ラインナップ(北九州国際音楽祭含む)の各公演内容などを細やかに発信する。聴衆の育成やこれまで音楽に馴染のない方が親しむきっかけの場として、普及、啓発、振興、教育などの役割を担う。また、公演の広報宣伝の場としても活用する。
アーツスタッフ養成講座 ①サポートが必要な方への接遇講座 ②おもてなし講座	響ホール ①６月４日（水） ②６月５日（木）	①サポートが必要なお客様への理解と対応方法を学ぶための講座。 ②フロントスタッフとして必要なおもてなしを学ぶための講座。
2025北九州国際音楽祭 特別プログラム まろさんのヴァイオリンが上手くなるひみつ	響ホール・リハーサル室 ８月９日（土）	本市出身のＮＨＫ交響楽団特別コンサートマスター篠崎史紀によるヴァイオリン愛好者を対象としたレッスンを行い、その様子を一般公開する。
2025北九州国際音楽祭 特別プログラム まるっと Enjoy！響ホールで夏休み	響ホール ８月 10 日（日）	３歳以上対象で入場無料。気軽に参加して本格的なクラシック音楽鑑賞などを楽しめるイベント。響ホールと音楽祭を身近に感じてもらうことを目的に開催する。
＜インクルーシブ＞ おとみっく「音の旅」	響ホール １０月７日（火） 関連事業 地域訪問コンサート	障がいの有無にかかわらず、大人から子どもまで誰でも楽しめる音楽コンサート。施設・特別支援学校などへの訪問コンサートも実施予定。
2025 北九州国際音楽祭 教育プログラム ①幼稚園の訪問コンサート ②小学生の鑑賞教室	調整中 １１月１９日（水）	音楽祭出演者による訪問コンサート。“生の音楽を聴く、体感する”を主眼に実施する。演奏者による楽器や曲目の話を交えながら、分かりやすく楽しめる内容とする。
2025 北九州国際音楽祭 特別プログラム プレ・コンサート	響ホール １１月２３日（日・祝）	開演前にオーケストラメンバーにより金管・木管アンサンブル、弦楽合奏などのプレ・コンサートを行う。
０才からの親子で楽しむクラシックコンサート	響ホール １月 24 日（土）２回公演 関連事業 地域訪問コンサート	０才から入場できるコンサートを企画創作。地域訪問コンサートを２日間行った後、響ホールにて本公演を午前・午後の２回実施。

2025 北九州国際音楽祭 特別プログラム コンサート・スタンプラリー	音楽祭有料プログラム会場 音楽祭期間中	３つ以上の対象コンサートのスタンプを集めた方に抽選で、出演者のサイン色紙などをプレゼントする。来場者の本音楽祭への愛着心を育て、リピーターの増加を目指す。
早期教育プロジェクト ２０２５ｉｎ 北九州	響ホール ２月21日（土）	東京藝術大学音楽学部の講師による公開レッスンを実施する。 【講師】未定（ピアノ）
ハープ研究会	[レッスン] 響ホール 月２回（４０分／回）	ハープに興味を持つ市民に対し、ハープ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施する。
チェンバロ教室	[レッスン] 響ホール 月２回（４０分／回）	響ホールのチェンバロを市民に広く周知するとともに、チェンバロ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施する。

（4）連携事業

音楽の力を活かし、様々な団体等と交流･連携･協働しながら、地域の活性化や教育･福祉の充実など、彩りある心豊かな社会の実現と魅力あるまちづくりに貢献する。

事業名	場所・時期等	内容等
地域訪問コンサート	市民センター、市内小中学校、特別支援学校、障害者施設ほか 通年	クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、「響ホールへようこそ！」等の出演者による地域訪問コンサートを実施する。（14公演）
ひびきつながるプロジェクト	響ホールほか 通年	・市内施設との連携企画として、市立八幡図書館との共催で「朗読コンサート」を開催する。 ・都市計画、まちづくりをテーマに活動する北九州市立大学地域創生学群のゼミ生との連携企画（ワークショップや地域でのコンサート等）を実施する。
北九州国際音楽祭組織委員会	通年	本市の財界、音楽界、教育界等の代表団体より参画を得て、北九州国際音楽祭へ地元ニーズを反映するとともに、本市の活性化に寄与する。
年長者研修大学校との連携事業	響ホール ６月	年長者研修大学校 周望学舎・穴生学舎と連携。音楽コース受講者へ、響ホールの特色や取り組みの紹介やステージで日頃の成果発表をするなどし、響ホールへの愛着醸成を図る。

（5）支援事業

地域文化の振興を図るため、市民の音楽活動を支援する取り組みを行う。

事業名	場所・時期等	内容等
中学校合唱講習会	響ホール ７月２３日（水） ～２４日（木）	北九州市中学校音楽教育研究会との共同主催にて、中学生及び合唱団のための合唱講習会を実施する。 【講師】田中安茂（合唱指揮者）
2025 北九州国際音楽祭 協賛事業	９月～１２月	本市におけるクラシック音楽文化等を盛り上げることを目的として、９月～１２月に北九州市内の施設で実施されるクラシック音楽等のコンサートを対象に、北九州国際音楽祭協賛事業（冠事業）の公募を実施。
響ホールお迎えバス	響ホール 通年	貸館時に、八幡駅発のお迎えバス（９人乗り）を運行し、響ホールへのアクセスの利便性向上を図る。 （主催者一部負担３,５００円）

（6）地域文化振興事業（市受託事業）

事業名	場所・時期等	内容等
第４９ 回北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館 ７月６日（日）	市内外の少年少女合唱団が一同に会して発表する合同演奏会。
第４６回北九州市レディースコーラスフェスティバル	響ホール ３月２０日（金・祝）	市内外のレディースコーラスグループが一堂に会して発表する。
合唱組曲「北九州」演奏会	北九州芸術劇場大ホール ３月８日（日）	ふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会。 【出演（予定）】北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか
北九州市少年少女合唱団 育成事業	[練習] 戸畑市民会館ほか 毎週土曜日１４時から [公演] 第５１ 回定期演奏会 北九州芸術劇場大ホール １２月１４日（日）	合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。
北九州市ジュニアオーケストラ 育成事業	[練習] 大手町練習場 毎月３回日曜日９時から [公演] 第４２ 回定期演奏会 北九州芸術劇場大ホール ８月２４ 日（日） 第２８ 回スプリングコンサート 北九州芸術劇場大ホール ３月 29 日（日）	オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。

2025 北九州国際音楽祭 中学生の鑑賞教室 ①住谷美帆、上野耕平 サクソフォン デュオ リサイタル 高橋優介[ピアノ] ②三浦一馬[バンドネオン] 関 朋岳[ヴァイオリン] 佐藤晴真[チェロ] ニュウニュウ[ピアノ]	響ホール ①１１月１１日（火） ②１１月２８日（金） 各日２公演	未来を担う青少年に一流の音楽に触れてもらうため、有料プログラムに出演する演奏者によるレクチャー付きコンサートを実施する。

3　芸術文化情報の収集及び提供事業

地域の芸術文化活動や公演の情報提供を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
北九州芸術劇場＆響ホール 「情報誌Q」の発行	年３回発行 ７・11・3月10日号 各90,000部	北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、実施事業について紹介。
芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	チケット＆アートスペース『Q-station』及び市民ギャラリーの運営、ホームページ等で公演の情報提供等を行う。
北九州芸術劇場＆響ホール 会員制度 「チケットクラブQ」 「KICPACメンバーズ」	―	市民により親しまれる身近な劇場・音楽堂を目指し運営。 【特典】公演など劇場・響ホール事業に関する情報の提供、チケット先行予約、ポイント積立てによる割引等。
北九州市芸術文化情報サイト 「かるぽー」（ポータルサイト） の管理運営	Ⅴ　地域文化の情報提供　参照	

4　文化芸術活動活性化支援事業

（1）文化芸術次世代育成事業「TRY ARTs」

子どもの文化芸術環境のさらなる向上や、若者の文化芸術活動の活性化、まちの賑わいづくり等に繋がる事業を対象に、経費の一部を助成する。

（2）総合相談窓口事業

市内で活動する、あるいは活動を検討している文化芸術関係者（個人・団体）のさまざまな声に寄り添い、一緒に考え、支援し、解決していくための無料の専門相談窓口の運営を行う。

Ⅱ　芸術文化施設の管理

北九州市の指定管理者として、各文化芸術施設の管理を実施する。

施設名	主要施設	期間
北九州芸術劇場	大ホール、中劇場、小劇場、創造工房、芸術文化情報センター（チケット＆アートスペース『Q-station』、市民ギャラリー）	令和７年４月１日から令和１０年３月３１日まで（指定管理）
響ホール	大ホール、リハーサル室、研修室、練習室１・２	
大手町練習場	大練習室、中練習室１・２、小練習室１～８、会議室１～３	令和７年４月１日から令和１２年３月３１日まで（指定管理）

Ⅲ 市有施設の維持管理

北九州市の指定管理者として、響ホールが入居する市有施設（北九州市立国際村交流センター）の一体的な管理運営を行う。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジアカーボンニュートラルセンター（環境局環境国際戦略課）、駐車場	令和７年４月１日から令和１０年３月３１日まで（指定管理）

Ⅳ 埋蔵文化財の発掘調査研究

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与する。

1　埋蔵文化財の発掘調査及び整理

事業名	遺跡名	区分	面積㎡	遺跡の概要
令和7年度　折尾土地区画整理事業（16街区）	菅原神社遺跡	発掘	2,000	集落跡
令和7年度　折尾土地区画整理事業（27街区）	末里遺跡	発掘	500	集落跡
令和7年度　折尾土地区画整理事業（20・21街区）	左近田遺跡	発掘	500	集落跡
門司港地域複合公共施設建設事業	旧門司駅舎跡	発掘	2,000	近代駅舎
令和7年度　折尾土地区画整理事業（9街区）	菅原神社遺跡	発掘	320	集落跡
横代川河川整備工事	竹下石棺群	発掘	850	集落跡
住宅建築（上到津四丁目）	八王子古墳群	発掘	600	古墳群
工場・店舗建設（穴生二丁目）	穴生諏訪遺跡	発掘	660	集落跡
旦過地区土地区画整理事業（１・２区）（令和４・５年度分発掘事業）	魚町遺跡第３地点１区・２区	整理（２年目）	—	城下町跡
旦過地区土地区画整理事業（３区）（令和６年度分発掘事業）	魚町遺跡第３地点３区	整理（１年目）	—	城下町跡
折尾土地区画整理事業（30街区）（令和６年度分発掘事業）	菅原神社遺跡10区	整理	—	集落跡
折尾土地区画整理事業（堀川橋17街区）（令和６年度分発掘事業）	菅原神社遺跡11区・12区	整理	—	集落跡
中貫貫弥生が丘１号線道路改築事業（令和６年度分発掘事業）	貫・裏ノ谷遺跡第２地点４区	整理	—	近世墓
７号線（富士見工区）街路事業（令和６年度分発掘事業）	城野石橋遺跡	整理	—	集落跡
門司港地域複合公共施設建設事業（令和５・６年度分発掘事業）	旧門司駅舎跡	整理（１年目）	—	近代駅舎
宅地造成（上石田三丁目）（令和５年度発掘事業）	石田遺跡第７地点	整理（２年目）	—	集落跡
宅地造成（高野三丁目）（令和５年度発掘事業）	高野遺跡第５地点	整理（２年目）	—	集落跡
合　計		発掘８件　整理９件	7,430	

2　埋蔵文化財調査報告書の刊行

旦過地区土地区画整理事業（１・２区）など　全7冊・７事業

3　埋蔵文化財に関する調査研究

年報及び研究紀要の発刊

４　埋蔵文化財に関する普及活動

埋蔵文化財に関する市民の理解を深める。

事業名	場所・時期等	内容等
速報展	埋蔵文化財センター 年１～２回程度	最近の調査で出土した埋蔵文化財を展示する。
遺跡発掘報告会	場所：未定 年1回	当年度に実施した発掘調査のうち、話題性の高い遺跡などを紹介する。
現地説明会	場所：発掘現場予定 年１回予定	市民を対象として、話題性が高く重要な遺跡で発見された遺構や出土遺物について、学芸員が現地で説明を行う。
考古学講座	埋蔵文化財センター 年１～２回予定	市民を対象とした北九州市内の遺跡および遺構、遺物をテーマにとりあげ、考古学や地域の歴史について学ぶ講座や、小学生～中学生を対象に、北九州市内の遺跡や遺物に関連した工作や実技を通じて、考古学や地域の歴史を楽しく学ぶ体験型講座を行う。

５　北九州市立埋蔵文化財センターの維持管理

施設名	主要施設	期間
北九州市立埋蔵文化財センター	展示室、整理作業室、事務室、収蔵庫	令和７年４月１日から 令和８年３月３１日まで

Ⅴ 地域文化の情報提供

1　北九州市芸術文化情報サイト「かるぽー」(ポータルサイト)管理運営

市民が気軽に文化芸術に触れる機会のさらなる創出を図るため、閲覧しやすく使いやすさを備えたポータルサイトを活用。芸術文化イベント情報について、施設やジャンル・さまざまなシーンを想定した検索機能を搭載するなど、一元的に広く発信する。芸術文化に関するイベント情報発信はもちろん、SNS との連動を図り、幅広い層に向けた情報発信を行い、「アートがそばにある暮らし」を実践している市民をはじめ多くの方々を応援するポータルサイトとして運営を行う。

2　書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を財団及び市内書店等で販売する。取扱い書籍は次のとおりである。

「北九州市史」（全１０巻)、「火野葦平とゆかりの人びと」、「北九州市の野鳥たち」、「川が変えたまち」、「門司港レトロ物語」、「ひろば北九州バックナンバー」等

Ⅵ 寄付制度

多様な財源確保の一環として寄付制度を導入する。安定的な財団運営を目指すとともに、芸術文化の循環を財団が支えることで、持続的な地域の芸術文化振興を実現する。